

令和5年度 学校教育自己診断の結果と分析

大阪府立住吉商業高等学校

結果

【生徒回答】

◇高評価（85%以上）

- 6 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。(87.7%)
- 7 文化祭（体育祭、修学旅行）は楽しく行えるよう工夫されている。(91.3%)
- 8 学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。(87.5%)

◆低評価（60%未満）

なし

【教職員回答】

◇高評価（85%以上）

- 4 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。(85.7%)
- 7 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。(96.4%)
- 8 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。(85.7%)
- 9 コンピュータ等のICT機器が授業などで活用されている。(96.4%)
- 11 学校内で他の教員の授業を見学する機会を積極的に持っている。(92.9%)

◆低評価（60%未満）

- 10 教員間で授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。(50.0%)
- 12 各種会議が教職員間の意思の疎通や意見交換の場として有効に機能している。(46.4%)
- 14 この学校では清掃がいきとどいている。(35.7%)

【保護者回答】

◇高評価（85%以上）

- 4 学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(87.1%)
- 6 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。(85.2%)

◆低評価（60%未満）

- 2 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。(53.9%)

分析

本校では、高評価（肯定的回答 85%以上）・低評価（肯定的回答 60%未満）を基準とするとともに、前年度比を加味して分析を行った。

生徒回答では、全 13 項目のうち 8 項目において肯定的な回答が前年度を上回ったが、「授業はわかりやすく楽しい」「先生の指導には納得できる」の 2 項目で昨年度より 6 ポイント程度下回った。次年度に向けて改善すべきポイントである。

教職員回答では、教職員間での意思疎通や授業方法の検討などにおいて低評価であり、昨年度よりも低下していることから、学校組織として取り組んでいく必要がある。

保護者回答では、おおむね生徒回答と同じ傾向であり、「授業がわかりやすい」「生徒指導の方針に共感できる」において、ともに昨年度から 6 ポイント程度低下しており、生徒・保護者のニーズに応じた指導のあり方を検討していく必要がある。

令和4年度 学校教育自己診断の結果と分析

大阪府立住吉商業高等学校

結果

【生徒回答】

◇高評価（90%以上）

- 7 文化祭（体育祭、修学旅行）は楽しく行えるよう工夫されている。（91.6%）
- 8 学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。（90.3%）

◆低評価（60%未満）

なし

【教職員回答】

◇高評価（90%以上）

- 4 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。（95.5%）
- 5 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。（90.9%）
- 7 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。（97.8%）
- 8 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。（91.1%）

◆低評価（60%未満）

- 14 この学校では清掃がいきとどいている。（54.3%）

【保護者回答】

◇高評価（80%以上）

- 4 学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。（87.4%）
- 6 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。（84.7%）

◆低評価（60%未満）

- 2 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。（59.9%）

分析

本校では、今年度初めて学校教育自己診断を実施した。前年度のデータがないので比較はできないが、高評価（肯定的回答 90%以上・保護者のみ 80%以上）・低評価（肯定的回答 60%未満）を基準とし、分析を行った。

生徒回答・教職員回答とも学校行事については満足度・達成度が高い。コロナ禍で行事が縮小されるなか、生徒の自主的な運営や教職員が工夫を凝らすことにより充実した活動を行った成果であると考えられる。教職員回答で低評価であった、学校内清掃は来年度の課題として教職員全体で取り組みたい。

保護者回答では、おおむね生徒回答と同じ傾向であるが、「授業がわかりやすい」との質問に保護者回答（59.9%）、生徒回答（73%）と乖離している。学校の広報不足であると考えられる。今後、学校の様子等を保護者へ積極的に発信する必要がある。